

たたらの里山クリエイター助成プログラム 募集要項

1 趣旨

～私たちは山から豊かな暮らしをつくる人を応援します～

雲南市の暮らしの近くにはいつも山があります。総面積のおよそ8割が山林で、歴史的にも「たたら製鉄」や「薪炭産業」が盛んに行われてきました。

かつて山は人が生きていくための水、食料、燃料、資材を供給する源でしたし、地域社会を成立させる産業生産や交通インフラ、里山の伝統そのものであり、そこに暮らす人が共有するものでした。

しかし今に暮らす私たちにとっては、山はどれほど身近でしょうか。

自分の家の山がどこにあってどういう状態なのか、把握できている人はどれほどいるでしょう。山に入り、素材や食べ物などの価値を取り出せる人は少なくなり、山に入りたいと思った人をすんなりと受け入れる、道のついた山もそう多くはありません。

その結果、雲南市でも多くの人にとって山は未知の場所であり、相続のお荷物となっているのが現状です。そして他の中山間地と同様に、人口減少と少子高齢化により林業・木材産業も担い手が不足しています。その影響は鳥獣被害の増加や防災・保水などの森林の公益的機能の保持の困難にもつながっています。

また、人口減少や気候変動などの社会的な環境変化とともに、CO2の吸着やヘルスケアなど森林への要望や期待は多様化しています。しかしそれらは壮大で、何から取り組んでよいかイメージしにくく、自分ごととして捉えにくいのではないのでしょうか。

そこで、まずは身の回りの森林空間から、日常を少し豊かにするという視点で行動から始めること。それが私たちが山との関係を見つめ直し、里山の価値を再び受け取ることができるきっかけとなるのではないのでしょうか。

またそうした営みの中で、山林の管理・活用の担い手を、行政や事業者のみならず地域に暮らす住民も可能な限り担うことで、持続的に価値を生み出す山林と安心安全の暮らしをつくることができます。

この基金はその担い手となる市民を増やす取り組みを行う人材を支援することを目的にしています。

雲南市では、森林(人工林率は約5割)の多くが本格的な利用期を迎えています。針葉樹林など経済林(木材生産など)の活用とともに、豊富な広葉樹資源の活用ができる森づくりが期待されています。

ですが、森林・林業政策に対する地域の期待は大きくなっている一方、多くの地方自治体と同じく、雲南市も地域の多様なニーズを含んだ森林管理を担う体制は整っていないとは言えず、様々な対策を講じるものの、人材不足等の根本的な問題解決には結びついていません。

本プロジェクトで山林の管理・活用の担い手となる市民が増えることで、このような林業・森林管理の問題解決にもつながっていくのではないのでしょうか。

2 助成対象事業

雲南の山や森林の持続可能性を高め、多様な価値を生み出し、暮らしの安心安全を守るための山林の管理・活用の担い手を増やすことを目的とする事業

3 助成対象者

1. 原則として、次のいずれかであること
 - 雲南市在住 又は雲南市内に事務所を置く団体等
 - 雲南市内で取り組みを実施する個人又は団体等
2. 以下のいずれにも該当しない団体であること
 - 政治活動や宗教活動を主たる目的とする個人又は団体
 - 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。)又は暴力団若しくはその構成員の統制下にある団体
 - その他法令、公序良俗等に違反する団体

4 助成団体・助成内容・助成対象経費

1. 助成団体: 1~3団体
2. 助成上限額: 30万円
3. 助成対象経費: 助成対象事業に関する経費(人件費を除く)。今後の活動継続・発展に活かせる用途のものを優先する。
(例) 林業機械、作業用具、燃料費、活動保険料、広報費、講師謝金及び旅費
4. 非資金的支援(伴走支援)
 - 基金設置者である非営利活動法人おっちラボによる集合研修の実施(活動の振り返りと計画の見直し、外部講師を招いての勉強会、助成団体同士のネットワーキング・ノウハウ共有などを想定)

5 助成期間・報告書提出義務

1. 助成期間(事業実施時期): 2021年9月から2022年3月まで
2. 報告書の提出: 2022年3月31日
※報告書様式は助成決定後、お渡します
※事業完了後も継続して報告を求めることがあります

6 募集期間・申請方法

1. 募集期間: 2021年7月1日(木)から2021年7月30日(金)17時まで
2. 申請方法: 以下のいずれかの方法にて
 - 申請書を配達状況がわかる「特定記録郵便」で当財団事務局宛に郵送
 - 申請書を当財団事務所まで持参
 - 申請書をデータをメールで送付
3. 申請書の入手方法
 - HPからダウンロード
 - 事務所にて受取

公益財団法人うんなんコミュニティ財団
〒699 - 1332 島根県雲南市木次町木次29番地三日市ラボ
メールアドレス: info@unnan-cf.org
URL: <https://www.unnan-cf.org/satoyama>

7 選考方法・選考基準

1. 選考方法:2021年8月10日(火)午後に選考会を開催します。申請者は選考委員にプレゼンテーションをしてください。

・プレゼンテーション:5分

・質疑応答:7分

※プレゼンテーション資料は事前にデータをお送りください

2. 選考基準

	選考基準内容	参照資料
1)趣旨と条件との適合	助成対象者の要件を満たしていること	申請書
	「たたらの里山クリエイター助成プログラム」の趣旨を理解していること	申請書
2)効果性	事業実施により具体的な効果が期待できること	申請書 及び 選考会プレゼンテーション
3)波及性	事業実施により、山林の担い手を増やしていくことができること	
4)継続性	事業実施により継続的な効果が期待できること	
5)実現可能性	計画に具体性があること	

8 助成金支給

助成決定後、決定額の50%を概算払いとして支給する。

残りは事業終了後、請求をもって支払いを行う。

9 運営者・問い合わせ先

公益財団法人うんなんコミュニティ財団
〒699-1332 島根県雲南市木次町木次36(法人本部)
電話:0854-47-7787
メールアドレス:info@unnan-cf.org

10 設置提案者・設置時寄付者

特定非営利活動法人おっちラボ
〒699-1332 島根県雲南市木次町木次29
<http://occhilabo.com/>